

たんぽぽ（年中）組

- ・自分で考えて自分で工夫して、自分で納得するまで取り組んでいきたくなる4歳児
- ・自分の意見を相手に伝え、相手の意見も受け入れることができるようになる年齢
- ・うれしいことや楽しいことを通して、たくさんのことを学んでいます



○新入児もすっかり園に慣れ、とても活発になってきた年中児さん。他のコースの先生や友だちとも少しずつ親しくなっている姿が見られます。

○コーナーでは製作や大型積み木、クッキング、砂場、転がしドッチボール等いろいろな場所で自分の好きな遊びを見つけ熱中している姿もみられています。更にいくつかの行事を経験し、少しずつ自分の活動に自信がついてきています。

○年中児さんは自分中心の幼い気持ちから、園という社会に参加する中で、少しずつ周りのことや友だちを受け入れられるようになってくる年齢です。大人や年長児さんから、ほんのちょっと褒められたことが励みになり、他の人が喜んでくれることへの挑戦が生まれてきます。

※何でも素直に真似をしながらの育ちですので、おおいに励ましてあげることが大切になっています。

お泊り保育にむけての集まりでは、泊まることが不安な子どもたちもいますので「たんぽぽ組さんだけで楽しくお出かけしたい!」という気持ちを大切に、少しずつ話をすすめています。

昨年体験した年長児さんから楽しかった話を聞き「自分たちもお当番やりたい!」「アイスを食べたい!」「トランポリンをやりたい!」という意欲や気持ちが湧いてきています。毎日の楽しい生活から、自分が認められていることでの安心感や自信が身についていくことを願っています。



すみれ（年長）組

- ・友達関係を通して社会性や知的な好奇心を身につけていく5才児。
- ・誰かのために役立つ喜びを知り、お手伝いを通して自信を持つようになっていきます。

進級し、水色の遊び着に袖を通し、4月から大活躍の53名のすみれさん!小さい子の世話や、「こどものもり」を代表しての世代間交流・沢田農園でのさつまいもの苗植え・毎日の当番活動などを通して、お兄さん、お姉さんとしての自覚や自信が芽生え、生活意欲につながってきています。最近は「できたよノート」にも取り組み、なわとび、鉄棒、うんていなどに楽しく挑戦しています。

年長児さんは園生活の流れを小さい子に伝えたり、友だちとの関わりやコーナー活動の体験を通して、小さい子の為の気配りや自分の気持ちを上手に表現することや、新しい出来事への興味や発見する喜び等を通して充実感や達成感が育ってきています。また一緒に同じ活動に取り組む中で、自分と異なる意見や対立を通して、相手を認めたり、譲りあったりする気持ちを学んでいます。

6月末よりお泊り保育の話し合いを始めています。「前のすみれさんはネーブルパークに行ったよね。」「たんぽぽさんの時はこどものもりにとまったね!」「今年もみんなでお泊りしよう!」「私たちもネーブルパークに行きたい!」など活発にいろいろな意見がでてきました。今後も一人ひとりがよく考えてみんなの前で発表したり、友だちの意見を聞いたりしながら話し合いを進めていきたいと思えます。

お泊り保育の楽しい体験を通して、お互いのことを思いやる気持ちや協力することの楽しさなどの社会性を身につけながら、一人ひとりの自信と挑戦する意欲につながっていくことを願っています。